令和７年度

社会福祉法人　総社市社会福祉協議会

事業報告

令和７年度　事業総括

令和７年度は、「地域共生社会の実現」に向け、法人運営基盤の強化を図りながら、地域福祉活動、相談支援、在宅福祉サービス等を総合的に推進しました。また、第２次総社市地域福祉活動計画の評価を行うとともに、第３次計画を策定し、多様化・複雑化する地域生活課題への対応に取り組みました。

地域福祉活動では、地区社会福祉協議会活動や福祉委員活動、ふれあいサロン活動、ボランティア活動等を支援し、住民主体の地域づくりを推進しました。また、地区社協活動マニュアルの作成やふれあいサロンへのヒアリングを実施し、地域福祉活動の充実に努めました。

相談支援分野では、障がい、生活困窮、ひきこもり、権利擁護等の各分野において、多機関と連携しながら包括的な相談支援を実施しました。重層的支援体制整備事業では、複合的な課題を抱える世帯への支援体制づくりを進めました。

また、ひきこもり支援における居場所づくりやサポーター養成、障がい福祉分野における相談支援や就労支援など、各分野において継続的な支援に取り組みました。在宅福祉サービス事業では、介護保険事業や障がい福祉サービス事業を通じ、利用者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう支援を行いました。

一方で、事業継続計画（ＢＣＰ）の見直しが未策定となった他、社協会員加入率や共同募金達成率は目標に届かず、自主財源の確保や社協活動への理解促進が課題として残りました。

また、子ども福祉委員活動や学生ボランティアチームの活動支援など、次世代の担い手育成に関する取り組みでは、参加者数や実施地区数が目標を下回りました。加えて、子ども食堂の新規立ち上げ支援や市民後見人との複数後見活動など、一部事業では十分な実績につながらず、実施体制や関係機関との連携強化が課題となりました。

今後は、第３次総社市地域福祉活動計画に基づき、今年度の成果と課題を踏まえながら、地域住民、行政、関係機関、団体等との連携をさらに深め、地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。

☆重点事業

【総社市社会福祉協議会　基本方針】	1．総務企画課
 すべての住民が 自分の住み慣れた地域で 自分らしく生き生きと 豊かに暮らせる ふれあい、助けあい、支えあい のある 住民主体の 福祉コミュニティの実現	①持続可能な組織基盤（財政・人材・事業）体制の強化 ②社会福祉協議会会員加入の推進 ③「社会福祉協議会活動」における広報啓発活動の充実
	2．地域共生推進課 ①地区社会福祉協議会（地区社協）活動の推進 ②福祉委員活動及び子ども福祉委員活動の推進 ③ボランティアセンター事業の強化（ボランティアの育成と福祉教育） ④新型コロナ特例貸付借受世帯に寄り添った相談支援の推進
	3．相談支援課 ①障がい者地域活動支援センター事業の推進 ②障がい者千五百人雇用センター事業の推進 ③ひきこもり支援事業の推進 ④多機関の連携・協働による複合的な課題への対応
	4．在宅福祉課 ①介護保険関連事業の推進 ②障がい福祉サービス事業の推進

１．法人運営事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
（１）組織運営		
①理事会の開催	３回（６月・11月・３月）	４回（６月・９月・３月） 令和６年度事業報告・収入支出決算 理事・監事・評議員の推薦について 総合福祉センターの処分について 令和８年度事業計画・収入支出予算
②評議員会の開催	３回（６月・11月・３月）	３回（６月・12月・３月） 令和６年度事業報告・収入支出決算 理事・監事の選任について 総合福祉センターの処分について 令和８年度事業計画・収入支出予算
③評議員選任・解任委員会の開催	随時	１回（６月）
④監査会の開催	１回（５月）	１回（５月） 所轄庁による法人指導監査　１回（２月）
⑤中期経営計画の進捗管理	随時（課長・係長会議）	８回（６月・７月・８月・10月・11月・12月・１月・２月）
⑥事業継続計画（BCP）の見直し	新体制での計画を策定	県社協主催の研修を受講
⑦ＡＩを活用した業務効率化	業務課題の抽出及び調査研究	試験的に活用し、アンケート調査を実施
（２）人材育成		
①職員採用計画の策定	１回（４月）	１回（４月）

②職員研修の開催	６回（４月・６月・８月・10月・12月・２月） コンプライアンスに関すること、経営状況及び予算内容等	４回 第１回：会計について 第２回：社会福祉協議会基本要項2025 第３回：地域福祉活動計画（第二次）評価 講師：岡山県立大学　岩満 賢次　教授 第４回：役職員研修
③職位別研修の受講	県社協が主催する「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」を受講 目標：主事級：２名、主任級：２名	主任級：２名　　係長級：２名 課長級：１名
④専門研修の受講	随時	地域福祉実践研修　　１名 市町村社協機能強化セミナー　２名 初任者重点テーマ強化研修　　１名 中堅職員重点テーマ強化研修　１名 社協基本要項フォーラム　　２名
⑤役職員研修の開催	１回（１月）	１回（12月） 「身寄りのない方や支援に抵抗のある方へ地域としてできること」 講師：同志社大学　永田 祐　教授
⑥学会等での研究発表	１回	０回
（３）福祉関係機関、団体との連携		
①福祉団体助成の実施	12団体 各団体へのヒアリングを随時行う	12団体
（４）社会福祉協議会会員加入促進と強化		

①地区社協を通じて、会員加入依頼	６月～３月、目標：加入率53%	６月～３月　実績：14,180,500円 加入率：50.02% 社協パンフレットを配付し、本会ホームページ及び社協だよりにて周知
②賛助会員、特別会員の拡充	法人、団体の加入促進　目標：前年度比20%増	特別会員の協力企業及び法人を社協だよりへ掲載（24社） 新規特別会員加入：５社
③未加入地域への説明会の実施	地区社協等と連携しながら随時実施	来所による説明：８件
（５）社協活動の周知・啓発への強化		
①社協だよりの発行、充実	３回（７月・11月・３月） 目標：バナー広告の掲載を実施	３回（７月・11月・３月）
②社協パンフレットの配付	７月～３月（社協会費の募集に併せて配付） 目標：パンフレットリニューアル	７月～３月（社協会費募集に併せて配付） 社協パンフレットリニューアル
③ホームページの更新、充実	新着情報（事業の報告や紹介等）の充実 バナー広告の掲載や寄付金申込の仕組み検討	70回
④SNSによる情報発信	Facebook、X等を活用し迅速な情報発信を行う	フォロワー数 Facebook：2,055名、Ｘ：2,083名
（６）民生委員互助共励事業の実施		
①会員の死亡や疾病、災害にかかる弔慰金、見舞金の手続き	民生委員互助共励事業運営要綱に基づき実施	傷病見舞：３件 退任慰労：49件（12/1一斉改選）
（７）視察研修事業		
①視察受入	随時	８件

２．共同募金・歳末たすけあい運動・赤十字事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
（１）共同募金・歳末たすけあい運動の実施		
①共同募金運動の推進（周知・啓発強化）	10月～１月 目標：達成率78%	10月～１月　実績：8,699,921円 達成率：74.7%
②共同募金ポスター作品コンクールの実施	１回：市内小中学校へ依頼	応募：49作品 授賞式開催：10月１日　天満屋リブ総社店 最優秀賞：１作品　　優秀賞：11作品
③寝たきり者への友愛訪問事業（歳末たすけあい運動）の実施	12月 事業分析から新規事業も検討する	12月　友愛訪問事業　対象者：34名
（２）赤十字事業の実施		
①赤十字会員増強運動の実施	５月～12月、目標額：8,799,900円	５月～12月 協力件数：11,301件 実績：8,800,400円　達成率：100% 日赤活動資金増強運動協議会：４月24日
②災害救護事業の実施	随時（火災等の被災者へ見舞金や救援物資を支給）	救援物資：３件（上林、三須２件） 見舞金：４件（上林、三須２件、日羽）
③赤十字奉仕団活動の充実	赤十字奉仕団活動への支援（地域での防災訓練や研修会企画）	研修会：１件（山手） 救急法：２件（常盤、山手）
④講習会等の広報活動	ふれあいサロンや各種団体への周知	健康生活支援講習：７件（ふれあいサロン、愛育委員協議会、栄養改善協議会等） 地域のイベントでのパネル展示（清音、山手）

３．災害救援活動、災害救援募金の実施

内　容	実施回数・目標など	実施状況
（１）災害救援活動、災害救援募金等の実施		
①災害ボランティアセンターへの職員派遣要請に基づく調整	他市町村等の大規模災害時での災害救援活動へ職員派遣する	派遣無し
②災害救援活動、災害救援募金等の実施	発災状況等に応じた迅速な受付窓口の開設	令和６年能登半島地震災害義援金 令和６年９月能登半島大雨災害義援金

４．地域福祉活動事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
（１）住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進及び支援		
①地区社協会長会議の開催	４回（４月・７月・10月・３月）	４回（４月・７月・12月・３月） 主なテーマ:地区社協マニュアル、地区社協だよりのホームページ掲載について
②地区社協活動（地域生活課題の解決に向けた事業展開）の検討	16地区	16地区において、運営に関する話し合いの場に参加し、地域の現状や課題を共有した。円滑な地区社協運営を支援することを目的に地区社協活動に関するマニュアルを作成した。
③小地域ケア会議・圏域ケア会議との連携	21地区・５圏域	21地区・５圏域の協議体へ参画
④地区社協活動の推進（多世代交流事業、見守り訪問、敬老事業等）	16地区 地区担当職員の配置	16地区 コミュニティソーシャルワーカーの配置
⑤地区社協だよりの発行支援	１～２回発行（16地区）	１～２回発行（16地区）
（２）民生委員･児童委員活動との連携		
①市民生委員児童委員協議会への参加	随時	随時（地区会長会議へ参加）
②地区民生委員児童委員協議会定例会への参加	１回/月・16地区	１回/月・16地区（延192回）
③民生委員･児童委員の地域福祉活動を支援	16地区（地区担当５名）	16地区（地区担当５名）
（３）福祉委員活動の推進		

①福祉委員の委嘱	委嘱数600名	委嘱数588名
②市福祉委員協議会の活動支援	役員会５回 （6月・8月・10月・12月・3月）	役員会５回 （５月・８月・11月・１月・３月）
③地区福祉委員会の活動支援	16地区（地区担当５名）	16地区（地区担当５名）
④民生委員･児童委員と合同研修会の開催	１回（16地区）	１回（16地区）
⑤子ども福祉委員活動の推進	５地区（うち新規２地区）	２地区（池田地区・総社西小学校区）
（４）ふれあいサロン事業の推進		
①ふれあいサロン運営支援	設置210か所	設置200か所 高齢：192か所、障がい：２か所 子育て：６か所
②新規ふれあいサロンの立ち上げ支援	随時	随時実施（新規立ち上げ：７か所）
③ふれあいサロンへのヒアリング	目標：70か所	200か所
④ふれあいサロン交流会の開催	２会場（１～２月）	３会場（２月～３月） 参加者数 55名（池田･常盤･清音･山手･三須） 59名（総社･総社北･総社中央･阿曽･服部） 61名（秦･神在･久代･山田･新本･昭和） 講演：「ふれあいサロンで実践できるレクリエーションを学ぼう」 講師：日本レクリエーション協会 公認インストラクター 釜口　一三　氏

（５）ボランティアセンター事業の実施		
①周知啓発	フォロワ―数150名（Facebook） 登録者数100名（公式LINE）	フォロワー数144名（Facebook） 登録者数99名（公式LINE）
②ボランティア（グループ、個人）活動支援	65グループ	67グループ
③ボランティア活動のコーディネート	延250件	延250件
④ボランティア養成講座（入門編）の開催	目標：養成40名、２回（10～11月）	受講者数：15名、２回（１月24日、29日）
⑤高校生ボランティアリーダー養成講座の開催	目標：養成20名、６回（６～２月）	受講者数：６名、７回（７～１月）
⑥学生ボランティアチームの活動支援	目標：登録者10名	登録者数：７名（活動者数：１名）
⑦夏のボランティア体験事業の実施	目標：受入施設50か所、参加者400名 活動期間：７～８月	受入施設45か所、参加者数457名 活動期間：７～８月
⑧ジュニアボランティア養成講座の開催	目標：養成15名、２回（７～８月）	受講者数：14名 ２回（７月26日・８月７日）
⑨ボランティアグループ交流会の開催	１回（１～２月）	１回（２月17日）
⑩ボランティア連絡協議会の支援	委員会：６回、交流会：１回	委員会：６回、交流会：１回、研修会：１回
（６）ボランティアセンター運営委員会		
①運営委員会の開催	１回（５月）	1回（６月17日）
②ボランティア推進部会の開催	２回（６月・１月）	1回（７月７日）
③災害ボランティア部会の開催	２回（６月・２月）	1回（11月11日）
④災害ボランティアフェスティバルの開催	１回（３月）、参加者700名	1回（３月14日）、参加者数 約300名

（７）福祉教育の推進		
①社会福祉学習支援事業の実施	各小中学校及び企業等	市内小学校（12校)、市内中学校（１校)、市内義務教育学校（１校）
②県立高校の社会貢献活動と連携	市内２校	市内２校（８件）
③福祉教育意見交換会の開催	１回（８月）	１回（３月３日）　参加者数：20名 講演「身近な福祉教育」 講師：ノートルダム清心女子大学 准教授　中井　俊雄　氏 実践報告者：清音小学校 清音地区社会福祉協議会
④福祉学習メニューの改定及び外部講師の拡充	ふくしネットそうじゃ参加法人との連携 福祉学習メニューの改定 外部講師の拡充	・小学校で実施した福祉学習のうち７回に、６法人（計７名）が同席 ・車いすユーザー：６件 ・盲導犬ユーザー：８件 ・点訳の会：１件
（８）生活福祉資金等の貸付		
①生活福祉資金の貸付	随時	相談件数：21件 緊急小口資金：１件
②緊急援護資金の貸付	随時	相談件数：63件（44件償還済）
③新型コロナ特例貸付相談支援	対象世帯数：683世帯 対象世帯へのアプローチ及びつながりづくり(訪問･電話･紙面等による相談支援や生活用品等の提供)	令和５、６年度未応答世帯へアプローチ ・電話、訪問等による対応：308世帯 ・借受世帯へのフードシェア会の開催（11月１日・12月18日）469世帯へ案内し、54世帯へお米をお渡しする。

（９）子育て支援事業の実施		
① 子育てサロンの支援	６か所	６か所
②地域密着型子どもまつりの開催支援	11地区	７地区（池田、清音、服部、山手、秦、久代、昭和）
③子ども食堂開設、運営支援	目標：新規２か所 助成：９食堂	立ち上げ支援：０食堂 運営継続支援：８食堂 つながり支援：１食堂、発展支援：２食堂
④子ども食堂連絡会の開催	２回（６月・12月）	連絡会：２回（6月30日・12月12日） 第１回：「子ども食堂パンフレットの作成、PRについて」「日頃の活動の様子、他の子ども食堂に聞いてみたいことなどについて情報交換」 第２回：「子ども食堂講演会＆子ども食堂立ち上げワークショップについての振り返り」「日頃の活動の様子、他の子ども食堂に聞いてみたいことなどの情報交換」
⑤子ども食堂立ち上げワークショップの開催（新規）	１回（９～10月）	１回（11月29日）参加者数：28名 第１部：子ども食堂講演会 講演「食を通じた地域のつながり」 講師：美作大学　講師　松尾　彰　氏 第２部：子ども食堂立ち上げﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ 報告：①そうじゃ食堂 くうねるあそぶ ②やまてっこひだまりカフェ ③地域食堂 DiningMinna

（１０）福祉団体の支援		
①老人クラブ連合会（いきいきシニア総社）	50単位クラブ	49単位クラブ
②ひとり暮らし高齢者の会（松寿会）	75名	70名
③総社介護者の会	20名	17名
（１１）社会福祉法人の公益的な取り組みへの参画		
①総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会の運営	総会１回、役員会随時 各部会随時（事業部会・調査研修部会） 研修会等１回	総会１回、役員会３回 各部会２回（事業部会・調査研修部会）
②各機関で把握している「要支援者」の情報（ニーズ）の把握	随時	随時
③社会貢献活動の実施	くらし応援事業、しごと応援事業、安心すまい応援事業、子育て応援事業、見守り事業、新たな取り組み応援事業	くらし応援事業、しごと応援事業、安心すまい応援事業、子育て応援事業、新たな取り組み応援事業
（１２）日常生活自立支援事業の実施		
①日常生活自立支援事業の実施	18件	19件
②生活支援員の活動支援	随時	12名
（１３）法人後見事業の実施		
①法人後見事業の実施	12件	８件
②法人後見支援員の活動支援	随時	６名
③市民後見人との複数後見活動の推進	３件	０件

（１４）社会福祉士ソーシャルワーク実習生の受入		
①社会福祉士ソーシャルワーク実習の受入	受入：６名（岡山県立大学・川崎医療福祉大学・ノートルダム清心女子大学）	受入：７名（岡山県立大学・川崎医療福祉大学・ノートルダム清心女子大学、穴吹国際みらい専門学校）
（１５）第３次総社市地域福祉活動計画の策定（新規）		
①第２次総社市地域福祉活動計画の評価	通年（評価冊子を作成）	評価報告書を作成
②第３次総社市地域福祉活動計画（新規）の策定	令和８年度からの実施に向けて策定	第３次総社市地域福祉活動計画書を作成

５．生活支援体制整備事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
（１）協議体の開催		
①総社市生活支援サービス検討委員会（第１層協議体）の開催	２回（８月・２月）	２回（６月・２月）
②圏域地域包括ケア会議（第２層協議体）の開催	３回（５月・９月・１月）	３回（５月・９月・１月）
③生活の支え合い活動検討部会の開催	３回（７月・10月・１月）	３回（７月・８月・２月） 生活の支え合い活動に関する講座、定年前セミナー、今後の部会について
④移動・外出支援検討部会の開催	３回（６月・９月・12月）	１回（５月）地域の支え合いによる移動･外出支援について～ガイドブック作成
（２）社会資源の現状把握･活用･開発		
①地域の担い手･居場所づくり情報交換会の開催	１回（２月）	１回（１月）岡山県立大学と住民主体の地域福祉活動実践者との交流
②給食･買い物事業者情報交換会の開催	１回（９月）	２回（６月）給食サービス事業者情報交換会
③生活支援サービスの立ち上げ支援	随時	１件：買い物支援サービス（総社中央地区）
（３）生活支援にこにこサポーター連絡会への支援		
① 生活支援にこにこサポート事業の実施	目標：利用者数55名、 サポーター登録120名	実利用者数：53名 サポーター登録：122名

②にこにこサポーター連絡会の開催	総会１回、役員会随時、研修会１回、地区連絡会５圏域（１回）	総会１回、役員会２回、地区連絡会１回 フォローアップ研修：１回 「よくわかる『聞こえ』と『補聴器』」 講師：Audika株式会社 経営企画室　小﨑　達哉　氏 岡山店　補聴器アドバイザー 伊藤　鮎美　氏
（４）介護予防・生活支援サポーターの養成		
①介護予防･生活支援サポーター養成講座の開催	２回（１回：７月～８月） （２回：10月～12月） 目標：受講者20名	２回（１回：７月～８月、全３回講座） （２回：10月～12月、全６回講座） 第１回：受講者数14名　修了者数14名 にこにこサポーター連絡会登録者数３名 第２回：受講者数52名　修了者数51名 にこにこサポーター連絡会登録者数10名 内容： ①総社市の現状・取り組みを知ろう！ ②認知症について学ぼう！ ③高齢者の暮らしを知ろう！ ④地域の支え合い活動を知ろう！ ⑤コミュニケーションの手法を学ぼう！ ⑥私たちにできることを考えよう！

６．介護予防拠点施設等管理運営事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
（１）さんあいの家、ひだまりの家、やすらぎの家、及び山手ふれあいセンターの指定管理		
①さんあいの家の管理運営	目標：利用者数480名/月	利用者数436名/月
②ひだまりの家の管理運営	目標：利用者数530名/月	利用者数456名/月
③やすらぎの家の管理運営	目標：利用者数260名/月	利用者数253名/月
④やすらぎの家管理運営委員会及び管理ボランティアの会の開催	管理運営委員会：２回（７月・３月） 管理ボランティアの会：２回（５月・11月）	管理運営委員会：２回（６月・３月） 管理ボランティアの会：２回（７月･12月）
⑤山手ふれあいセンターの管理運営	目標：利用者数620名/月	利用者数625名/月

７．障がい者福祉事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
（１）障がい者基幹相談支援センターの設置運営		
①相談支援	延相談件数：5,000件	延相談件数：6,173件
②地域の相談支援事業者間の連絡調整		随時
③関係機関の連携の支援		随時
④地域自立支援協議会の運営		（５）地域自立支援協議会の運営参照
（２）発達障がい者支援体制整備事業の実施		
①相談支援	延相談件数：3,000件	延相談件数：4,198件
②発達障がい支援者養成講座の開催	５回（11月～3月）	５回（10月21日～２月５日） 延受講者数662名（会場及び録画視聴） 内容：①発達障がいの理解 ②個々の理解に応じたかかわり ③わかりやすい伝え方 ④子どもからの発信を育てる ⑤ライフステージに応じた支援に向けて 講師：川崎医療福祉大学　重松　孝治　氏
③世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間啓発イベントの開催	障がいのある方の作品展示 ４月２日～４月８日	障がいのある方の作品展示 ４月２日～８日 天満屋リブ総社店チュッピースクエア 作品数：46作品　来場者数：246名

④専門職派遣事業の実施	随時	０件
⑤子育て支援研修会の開催	１回（10月）	１回（１月）参加者数：20名 内容:子どもとより良い関係を築くためのポイントや子育ての考え方を学ぶ 講師：兒山志保美 氏（総社市スクールカウンセラー/岡山大学保健管理センター）
（３）障がい者千五百人雇用センターの設置運営		
①求職者の相談支援（生活面含む）	延相談件数：3,000件	延相談件数：2,367件
②就職者の職場定着支援	延相談件数：3,000件	延相談件数：3,249件
③登録者の状況確認	１回（11月）：アンケートの実施	１回（11月）：アンケートの実施 対象者数：754名（回答率34.6%）
④就労支援セミナーの開催	１回（11月） 内容:精神障がい、発達障がいの特性理解と職場における支援について	１回（３月９日）参加者数：33名 （企業14社、関係機関８機関） 内容：①障がい者雇用の現状について ②障がいのある方への雇用と定着に必要なポイントとは ③カイタックにおける障がい者雇用へ の取り組みについて
⑤就職準備講座の開催	１回（１月）	１回（３月９日）参加者数：９名 内容：面接におけるポイントについて 講師：倉敷公共職業安定所 総社出張所　西山　泰宏　氏
⑥障がい者ワークわくそうじゃ就職面接会への協力	千五百人雇用センターの相談ブースを設置　１回（１月）	千五百人雇用センターの相談ブースを設置（相談者数：10名）

⑦工賃向上研修会の開催	１回（９月）	１回（10月）参加者数：16名 就労継続支援B型事業所nuiへの視察研修
（４）障がい者地域活動支援センター（Ⅰ型）「ゆうゆう」の設置運営		
①日中活動支援	延利用者数100名/月	延利用者数：106名/月（1,281名/年）
②登録者の利用促進	登録者で利用できていない方への声かけ・状況把握	随時
③障がい者ふれあいボランティア養成講座の開催	３回（１月～２月）	３回（１月）参加者数：３名 内容： ①精神障がいのある方との接し方について ②障がいのある方と実際に関わってみよう ③地域活動支援センターの役割と障がいのある方との関りについて 講師：こころ診療所　木村　仁美　氏他
④ゆうゆう通信の発行	12回	12回
（５）地域自立支援協議会の運営		
①全体会	１回（６月）	１回（６月）
②運営会議	４回（４月、９月、11月、１月）	４回（４月、９月、11月、１月）
③実務担当者会議	１回（３月）	１回（３月）
④専門部会、連絡会		
地域生活支援部会	４回（６月、９月、11月、１月）	３回（６月、10月、２月） 障がい者の高齢化や親亡き後を見据えて、地域で生活している障がい者・児の自立を検討

こどもに寄り添う部会	３回（５月、12月、３月）	２回（６月、11月） ①障がい児支援関係者の情報交換の場 ②保護者の相談ニーズの確認
相談支援部会	12回（毎月）	12回（毎月） ①相談支援事業所の情報交換 ②５ピクチャーズを用いた事例検討、グループスーパービジョンを行う
就労支援事業所連絡会	２回（５月、９月）	３回（５月、７月、１月） ①そうじゃてのひらマルシェの開催に向けた企画立案 ②ブランディング商品の開発について協議 ③サービス費等に関するアンケート調査および意見交換
生活介護事業所連絡会	４回（５月、７月、10月、２月）	４回（５月、８月、10月、２月） ①市内生活介護事業所間の連携強化 ②サービスの質の向上に向けての課題検討
障がい児日中一時支援事業所連絡会	４回（７月、９月、12月、３月）	３回（５月、７月、３月） 障がい者日中一時支援事業所間の連携及び課題把握、課題解決に向けた取り組みについて協議
療育支援事業所連絡会	４回（５月、９月、12月、３月）	５回（５月、６月、８月、12月、２月） 療育に関わる専門職のネットワークを構築し、支援体制の充実をはかる
医療的ケア児等支援連絡会	４回（５月、７月、10月、１月）	４回（５月、７月、10月、１月） ①医療的ケア児の支援体制及び地域課題の

		検討 ②支援者間の繋がりを深める
ハートフルそうじゃ実行委員会	４回（７月、９月、11月、12月）	４回（７月、９月、11月、12月） メイン企画、サブ企画、広報計画、販売内容等の企画立案
（６）障がい福祉フォーラムの開催		
①「ハートフルそうじゃ」	１回（12月）	１回（12月）参加者数：580名 令和７年12月６日　　山手公民館 テーマ：「築こう絆♡楽しもうハートフルそうじゃ」
②障害者週間啓発活動	障害者週間：12月３日～９日	障がい福祉サービス事業所紹介のパネル展示：12月３日～９日 天満屋リブ総社店チュッピースクエア
（７）障がい者（児）団体の支援		
①総社市身体障がい者福祉協会への支援	会員相互の親睦と福祉の向上を図る	組織運営における相談対応・役員会の開催や行事の案内・準備など、会員相互の親睦と交流活動を支援

８．権利擁護事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
（１）権利擁護センター運営委員会及び支援検討委員会の開催		
①運営委員会の開催	２回（４月・９月）	２回（５月・９月）
②支援検討委員会の開催	６回 （奇数月、必要に応じて臨時開催）	６回（奇数月）事例検討２件、受任者調整19件、法人後見運営委員会３件
③専門職支援チームによるケース会議の開催	随時	開催なし
（２）ワーキンググループの開催		
①地域での暮らしを支える意思決定支援ワーキンググループ（新規）	４回	３回 ・市民後見人の活動展開に向けた検討 専門職と市民後見人の複数後見マニュアルを作成 ・身寄りのない人の支援に関する調査 アンケート結果を評価・分析し、今後の取り組みを検討
（３）成年後見制度に関する事業（中核機関に関する事業）		
①相談対応	延相談件数：1,200件	延相談件数：1,733件
②成年後見制度普及啓発事業	７～８月　内容:成年後見制度の意義と基本的な仕組みについて	成年後見セミナーの開催（８月） 参加者数：24名 講師：総社法律事務所 弁護士　岡田　孝文　氏
③市長申立て事務の補助	10件	19件

④市民後見人養成事業	目標：養成５名	養成者数：４名
⑤市民後見人フォローアップ事業	６回（定例研修会）	６回（奇数月） ①R7年度の研修内容について ②ACPと意思決定支援について 講師：市長寿介護課　地域ケア推進係 保健師　川田　未来　氏 ③事例検討：本人の意志と安全面のバランス ④任意後見制度について 講師：司法書士　宮川　康弘　氏 ⑤後見人が関わる年金業務 講師：社会保険労務士　森永　陽子　氏 ⑥矢掛町民後見人との交流会
⑥権利擁護推進講座の開催	１月～３月 目標：養成５名	３回（１～２月）　受講者数：７名 成年後見制度の理解、施設見学など
⑦弁護士・社会福祉士による成年後見制度に関する無料相談会の開催	12回	12回（毎月）　相談５件
⑧後見人支援	随時	随時：後見事務に関する相談など
⑨後見等候補者リスト登録者との連携	２回　内容：ニュースレター発信	ニュースレターの発行２回
⑩後見等候補者リスト登録説明会の開催	１回程度	２回（３月）　新規登録者数：２名
（４）虐待対応に関する事業		
①相談対応	延相談件数：600件	延相談件数：1,271件
②総社市要保護児童対策地域協議会との連携	会議への参画	４回

③虐待防止のための研修会の開催	１回（７月）	１回（７月）　参加者数：30名 演題：安心して地域で暮らし続けるために ～高齢者の権利擁護から～ 講師：美作大学　講師　松尾 彰 氏
（５）入居等の支援に関する事業		
①相談支援	延相談件数：250件	延相談件数：565件
②入居支援団体等との連携	随時	居住支援に関する研修会へ参加：２回
（６）犯罪被害者支援に関する事業		
①相談対応	延相談件数：10件	延相談件数：13件
②犯罪被害者支援講演会の開催	１回（11月）	１回（11月）　参加者数：22名 演題：SNSから始まる犯罪被害の現状と 被害者支援 講師：被害者サポートセンターおかまやま（VSCO）犯罪被害相談員　片山　文　氏
（７）権利擁護推進に関する事業		
①法律ミニ講座の開催	10回　内容：「相続」、「家族法に関する諸問題」、「各種ハラスメント」など	９回　　延参加者数：323名 講師：山本　諒平　弁護士 ①相続Ⅰ「相続の基本」 ②相続Ⅱ「遺産分割の基本」 ③相続Ⅲ「相続の落とし穴」 ④相続Ⅳ「生前整理と相続準備」 ⑤相続Ⅴ「改葬・墓じまい」 ⑥成年後見制度（法定後見・任意後見）

		⑦日常生活上のトラブルと法律 （近隣トラブル編） ⑧日常生活上のトラブルと法律② （消費者被害編） ⑨法律問題あれこれ
②専門職対象の法律相談	延相談件数：15件	34件
③ネットワークの構築	「そうじゃ権利擁護ねっと」との連携	権利擁護ねっと開催：２回 なんでも相談会開催：２回 延相談件数：23件

９．生活困窮者支援事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
（１）生活困窮支援センター相談業務		
①自立相談支援事業	延相談件数：5,000件	延相談件数：5,902件
②就労準備支援事業	プラン作成件数：５件	プラン作成件数：１件
③家計改善支援事業	プラン作成件数：24件	プラン作成件数：13件
④家計相談会の開催	６回	６回
⑤支援調整会議の開催	12回	12回
（２）生活困窮支援センター協議会及び専門部会の開催		
①協議会開催	２回（４月、９月）	２回 第１回：５月８日 ・令和６年度事業報告 ・令和７年度事業計画案 第２回：10月６日 ・令和７年度事業中間報告 ・令和８年度事業計画案
②常任委員会開催	随時	開催せず
③就労支援部会開催	２回（９月、３月）	部会廃止
④学習支援、子ども食堂等支援部会	２回（８月、２月）	３回 第１回：６月２日 ・学習等支援事業アンケート調査案

		第２回：９月12日 ・学習等支援事業アンケート調査結果 第３回：２月17日 ・学習等支援事業アンケート調査結果から、次年度以降の取り組みの検討
（３）学習等支援事業「ワンステップ」の実施		
①学習支援（中高生版）	毎週火曜日、金曜日19:00～20:30 参加者数：10名/回	参加者数：５名/回
②学習支援（小学生版）	毎週水曜日15:30～16:30 参加者数：10名/回	参加者数：10名/回
③ボランティア交流会	２回	２回 第１回：７月25日　参加者数：４名 第２回：１月27日　参加者数：５名
④オープンキャンパスへの参加	２回（７月～８月）	１回：７月19日　岡山県立大学
⑤社会体験プログラム	３回	２回 第１回：８月６日　　ゲーム大会 第２回：11月21日　食育企画
⑥職業人の話を聞く会	２回	２回 第１回：10月31日　建設会社 第２回：３月６日　　スポーツクラブ
⑦各専門機関との連携	随時	随時
（４）食糧支援に関する事業の実施		
①関係機関との連携	・フードバンク岡山	順正学園デリシャスフードキッズクラブ

	・順正学園ボランティアセンター ・おかやまコープ	利用：３件 おかやまコープによる食糧品寄附：７件
②フードドライブの実施	２回	１回　10月18日　４件（30品） 清音いきいき健康福祉まつり会場
③子ども食堂への食材提供	随時	食材提供595品
④岡山県立大学フードバンクとの連携	随時	食糧提供実施せず
（５）ふくしネットそうじゃとの連携		
①生活支援物資の確保	フードドライブの実施（年２回）	２回

１０．ひきこもり支援事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
（１）ひきこもりからの社会参加の促進		
①ひきこもりからの社会参加の促進	目標：12名/年	７名/年　累計101名
（２）ひきこもり支援センター「ワンタッチ」の設置運営		
①相談対応	延相談件数：4,000件	延相談件数：3,408件
②ひきこもりケース検討会の開催	６回以上	７回（検討ケース11件）
（３）ひきこもり支援等検討委員会及び専門部会の開催		
①支援等検討委員会の開催	２回（４月・９月）	２回 第１回：５月２日 ・令和６年度事業報告 ・令和７年度事業計画案 第２回：10月14日 ・令和７年度事業中間報告 ・令和８年度事業計画案
②支援者養成部会の開催	２回（５月・３月）	２回 第１回：５月28日 ・ひきこもりサポーター養成講座案 第２回：３月12日 ・ひきこもりサポーター養成講座振り返り ・サポーター活動の充実に向けて

（４）ひきこもりサポーターの養成と活動の推進		
①ひきこもりサポーター養成講座の開催	目標：養成10名 ３回講座（８月～９月）	養成者数：７名　３回講座 第１回：８月30日 第２回：９月７日 第３回：９月28日
②ひきこもりサポーター全体定例ミーティング	６回	７回開催（総会含む）
③ひきこもりサポーター係別ミーティング	・居場所、農園係　・研修係 ・イベント係　・広報係	農園係：畑と花壇の管理 居場所係：ほっとタッチぽえむで活動
④ひきこもりサポーターフォローアップ研修	２回	２回 第１回：12月４日 講演「基本に立ち返ろう」 講師　NPO法人　岡山高等学院 理事　水野文一郎氏 第２回：２月25日 香川県ひきこもりサポーターとの意見交換
⑤ピアサポーター育成	随時	随時
（５）居場所の設置、運営		
①ほっとタッチの設置・運営	延来所者数：700名	定期開所時延来所者数：609名 個別活動時延来所者数：161名
②ほっとタッチぽえむの設置・運営	延来所者数：100名	定期開所時延来所者数：67名 個別活動時延来所者数：31名
③夜型居場所の設置・運営	16回　延来所者数：50名	16回　延来所者数：51名

④常設居場所以外の体験型活動の実施	10回	10回　　延参加者数：27名
⑤メタバースを活用した居場所の実施（新規）	８回	10回　　延参加者数：17名
（６）ひきこもり家族会への支援、参加家族の拡充		
①研修会の実施	１回　内容：ひきこもり状態にある名に対して、家族の立場でどのように関わればよいか	１回：11月20日　　参加者数：10名 講演：国民生活を生涯にわたって支える社会保障制度を知ろう 講師：社会保険労務士 森永陽子氏　北山克幸氏
②情報交換会（定例会）	12回	12回
③通信の発行	家族会だより等の発行	１回（３月）
（７）全国ひきこもり支援基礎自治体サミットへの協力		
（８）ひきこもり者現状確認と地域との連携		
①民生委員児童委員協議会定例会等への出席	各地区１回以上	７月：全地区出席
（９）教育・福祉・保健医療の連携強化		
①ひきこもりケース検討会（備中保健所、健康医療課、スクールソーシャルワーカーとのケースの共有、支援の検討）（再掲）	６回以上	７回（検討ケース11件）
②不登校をきっかけとしてひきこもりとなることが想定される対象者についての意見交換会	１回以上	１回：９月４日

（１０）周知啓発活動の実施		
①ひきこもり支援センター紹介チラシの配布	随時	随時
②社協だより等への記事掲載	２回	３回
③ホームページ・Facebook等により情報発信	12回	11回
④ひきこもりミニ出前講座の実施	４回	２回 井山サロン、東部圏域地域包括ケア会議

１１．重層的支援体制整備事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
（１）重層的支援体制整備事業		
①包括的相談支援事業	対象事業 ・障がい者基幹相談支援センター ・障がい者千五百人雇用センター ・生活困窮支援センター ・ひきこもり支援センター ・権利擁護センター	各事業実績のとおり
②地域づくり事業	対象事業 ・生活支援体制整備事業 ・地域活動支援センターゆうゆう	各事業実績のとおり
③参加支援事業	対象事業 ・ひきこもり支援センター ・障がい者千五百人雇用センター ・発達障がい者支援体制整備事業	各事業実績のとおり
④多機関協働事業	延相談件数：500件 重層的支援会議：４件、支援会議10件 まるっと・つながる研修会：４回	延相談件数：1,609件 重層的支援会議：10件、支援会議19件 まるっと・つながる研修会：４回

１２．在宅福祉サービス事業

内　容	実施回数・目標など	実施状況
（１）介護保険事業		
①居宅介護支援事業 （ケアプラン作成、定期的な再評価）	目標：150名/月 再評価：１回/月	延149人/月 再評価：１回/月
②訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）	目標：120名/月	延117人/月
③研修会の実施	10回/年	13回/年
④家族への満足度アンケート実施	年１回	未実施
（２）障がい福祉サービス事業		
①相談支援事業 （サービス等利用計画の作成及び評価）	目標：延600名 評価：１回/６か月	延794人 評価：１回/３か月、１回/６か月
②障害児相談支援事業 （障害者支援利用計画の作成及び評価）	目標：延300名 評価：１回/６か月	延334人 評価：１回/３か月、１回/６か月
③障害支援区分認定調査	目標：延50名	延73人
④居宅介護事業（ホームヘルパー派遣）	目標：60名/月	延55人/月
⑤移動支援事業	目標：延50件	延80件
（３）車いす貸出し事業の実施		
① 在宅の高齢者及び障がい者	目標：延50件	延54件

② けがや病気で緊急、若しくは一時的に必要になった方	目標：延30件	延14件
（４）虐待防止委員会		
①虐待防止に係る研修を実施	１回	１回（10月）
②虐待防止委員会の開催	１回	１回
（５）感染対策委員会の開催		
①事業所内感染対策に関する職員への研修・訓練の実施	１回	２回（５月・６月）
②感染症発生時の対応の検討	随時	随時
（６）事業継続計画（BCP）の策定及び災害時机上訓練の実施		
①職員の安全を最優先に考え職員の家族を含めた安全対策を行う	随時	随時
②早期の対応が必要とされる業務（非常時優先業務）を適切に実施する体制を確保	随時	随時
③必要な資源（人員、設備、資機材等）や対策を事前に定めて災害発生後の業務継続に万全を期することを目指し訓練を繰り返し行う	１回以上	２回（11月）